おおいた高齢者いきいきプラン〈第9期〉の令和6年度進捗状況等について

令和7年度 第1回 大分県高齢者福祉施策推進協議会

おおいた高齢者いきいきプラン(第9期)について

総論

計画の策定趣旨等

旨: 本県の高齢者福祉施策の基本指針となるもの (1) 趣

(2) 策定根拠: 老人福祉法 第20条の9 (老人福祉計画)及び介護保険法

第118条(介護保険事業支援計画)

(3) 計画期間: 令和6年度~8年度(3年間)

2 高齢者等の現状と将来推計

- 高齢者人口のピークは2025年、高齢化率は2050年には4割を超える
- 2040年にかけ医療・介護双方のニーズを有する85歳以上人口が急激に増
- 要介護認定率は全国水準より低く推移。今後更なる増加が見込まれる
- 認知症高齢者の増
- ・世帯主が65歳以上の高齢者単独世帯・高齢夫婦世帯の増

3 計画の基本理念

高齢者が生きがいを持って、健康で、安心して暮らせる地域づくりの推進 ~地域共生社会の実現に向けた地域包括ケアシステムの深化・推進~

各論

第1章 生涯にわたり生きがいを持って活躍できる社会づくり

- ①就労的活動の促進(企業へのアプローチ、高齢求職者の掘り起こし、 マッチング等)
- ②地域活動への参画促進(老人クラブやボランティアの活動支援)
- ③牛涯学習やスポーツ等の推進

第2章 健康寿命日本一の実現に向けた環境づくり

- ①健康寿命を延ばす健康づくりの推進(特定健診の啓発等)
- ②介護予防の推進(地域リハビリテーション協議会の開催や、高齢者の 保健事業と介護予防の一体的実施、専門職の効果的な関与等による 住民主体の诵いの場の充実)
- ③自立支援・重度化防止の取組の推進(在宅復帰機能強化、生活機能の 改善に資するサービスの適切な利用の推進)

第3章 地域で安心して暮らせる基盤づくり

- ①地域共生社会の推進(包括的相談支援体制の整備、居住支援体制の 横築と推進)
- ②地域ケア会議の充実・強化(市町村への個々の課題に応じた個別 支援)
- ③生活支援サービスの充実(生活支援コーディネーターの取組支援)
- ④良質な高齢者向け住まいの確保(住宅等確保、住宅改造等)
- ⑤医療・介護連携の推進(市町村における効果的な事業 実施の支援、外来医療とかかりつけ医機能等)
- ⑥地域包括ケアシステムを支える人材の育成・資質向上
- (7)支援を要する高齢者を支える環境の整備

第4章 必要な時に安心して介護サービスを受けられる 基盤づくり

- ①介護サービスの充実(居宅・地域密着型・施設サービスの充実)
- ②介護人材の確保・育成(参入促進、離職防止・定着促進、現場革新)
- ③介護サービスの質の確保・向上(介護給付の適下化等)
- ④災害や感染症対策に係る体制整備

(施設での感染症対策の取組支援、地域における連携体制の構築等)

第5章 認知症など支援が必要な人を支える地域づくり

①認知症施策の推進

(理解の促進と地域づくりの推進、社会参加支援等)

- ②虐待防止対策の推進(県民への普及啓発、従事者への研修の実施)
- ③権利擁護の推進(成年後見制度の利用促進等)

計画策定の体制

大分県高齢者福祉施策推進協議会 (構成員:医療・福祉サービス関係者等20名)

介護予防

・地域づくり

医療・介護 連携推進

認知症施策 推進

人材確保 ・現場革新

※協議会の下に4つの部会を設置

ーおおいた高齢者いきいきプラン<第9期>目標指標一覧・進捗状況目次一

	基本方針、施策体系	目標指標	単位	目標値	実績値	頁
第 1	生涯にわたって生きがいを持って活躍できる社会	きづくり				
章	1 就労的活動の促進	_	_	_	-	4
	2 地域活動への参画促進			•		
	(1)老人クラブ活動への参加促進	〇老人クラブ加入率全国 順位	位	16	24	5
	(2)ボランティア・NPO活動等への参加促進	〇65歳以上の高齢者の ボランティア登録数	人	15,935	18,130	,
	3 生涯学習やスポーツ等の推進					
	(1)生涯学習の推進	○「協育」ネットワークの取組に参加する地域住民の割合	%	10.3	11.0	6
	(2)ライフステージに応じたスポー ツ活動の推進	〇豊の国ねんりんピック (スポーツ・文化)参加者数	人	5,624	3,448	U
第 2	健康寿命日本一の実現に向けた環境づくり					
章	1 健康寿命を延ばす健康づくりの推進	〇特定健診受診率	%	60.9	60.0	7
		〇通いの場への高齢者の 参加率	%	18.0	14.0	
	2 介護予防の推進	〇要介護2以上の年齢調 整後認定率全国順位	位	1	8	7
	3 自立支援・重度化防止の取組の推進	援・重度化防止の取組の推進 〇短期集中予防サービス 利用者数				
第 3	地域で安心して暮らせる基盤づくり					
章	1 地域共生社会の推進					
	(1)包括的支援体制の整備	〇高齢者、子育て家庭等、多世代交流、 支え合い活動の実施主体	組織	495	515	8
	(1 /己拉的又抜件制の登谰	〇包括的な支援体制が整備 されている市町村の数	市町村	14	9	0
	(2)居住支援体制の構築と推進	〇市町村ごとの居住支援 体制の整備数	市町村	18	6	- 8
	(と)加 は入扱件明い得未し 推進	〇居住支援による人口カ バー率	%	50.0	58.2	Ü

		基本方針、施策体系	目標指標	単位	目標値	実績値	頁	
第 3	地域で	で安心して暮らせる基盤づくり						
章	2 地	域ケア会議の充実・強化	_	1	1	1	8	
	3 生	活支援サービスの充実	〇地域ケア会議に1回以上参加している生活支援コーディネーターの割合	%	100	83	9	
			〇専従で配置されている第2層の生活支援コー ディネーターの割合	%	50	29	9	
	4 良	質な高齢者向け住まいの確保						
		(1)高齢者向け住宅等の確保	_	_	1	-		
		(2)住宅改造の支援	_	1	1	1	9	
		(3)生活支援のための居住施設の整 備	_	1	1			
	5 医	療・介護連携の推進						
			〇介護保険事業計画における在宅医療・介護連 携発進に係る施策について、評価のための指標 を設定している市町村数					
		 (1)在宅医療・介護連携推進事業の	〇訪問診療を受けた患者数	人	15,870 15,181			
		充実	〇医療機関が患者の退院に向けてケアマネー ジャーと連携して介護サービスの説明・指導を 行った(介護支援連携指導料を算定した)患者 数	Д	3,461	3,489	10	
			〇在宅での死亡割合	%	26.8	25.8		
			〇訪問診療を受けた患者数(再掲)	人	15,870	15,181		
		(2)関係者の人材確保・育成と住民 への啓発	〇医療機関が患者の退院に向けてケアマネー ジャーと連携して介護サービスの説明・指導を 行った(介護支援連携指導料を算定した)患者 数(再掲)	人	3,461	3,489	10	
			〇在宅での死亡割合(再掲)	%	26.8	25.8		
		(3)外来医療の機能明確化とかかりつけ医機能の確保	_	-	_	_	11	
		域包括ケアシステムを支える人材の 成・資質向上		ı	-	ı	12	

	基本方針、施策体系	目標指標	単位	目標値	実績値	頁				
第	7 支援を要する高齢者を支える環境の整備									
3 章	(1)ユニバーサルデザインの推進	〇あったか・は一と駐車場 協力施設数	施設	1,353	1,271					
	(2)生活困窮者等への支援	_	ı	1	_	13				
	(3)災害時の支援	(3)災害時の支援 ー								
第	必要な時に安心して介護サービスを受けられる									
4 章	1 介護サービスの充実									
	(1)居宅サービスの充実	サービス量 (利用者・利用回数等)				14				
	(2)地域密着型サービスの充実	※個別サービスについて、市町村数値の積み上	-	_	_	15				
	(3)施設(系)サービスの充実	げ(R6~R8)を記載								
	2 介護人材の確保・育成									
	(1)基盤構築	_	ı	ı	-	16				
	(2)多様な人材の参入促進	〇県内の介護職員数	人	24,264	23,170	16				
	(3)離職防止・定着促進	〇大分県認証評価制度「ふくふく 認証」 認証法人数	法人	80	28	17				
	(4)現場革新	Oノーリフティングケア先 進施設指定数	施設	25	13	17				
		〇入所系介護施設の介護ロボット導入率	%	100	85					
	(5)介護人材の育成	_	-	_	_	17				
	3 介護サービスの質の確保・向上	T								
	(1)介護サービス事業者に対する指導・監督	_	-	_	_	18				
	(2)国保連合会による苦情相談受付・対応	_	-	_	_	18				
	(3)介護サービス情報の公表	_	ı	-	_	18				
		〇介護給付適正化システムを活用したケア ブラン点検実施市町村数	市町村	18	8					
	(4)介護給付適正化の取組	〇専門職による住宅改修の点検 の体制構築市町村数	市町村	市町村 18		18				
		〇専門職による福祉用具購入・ 貸与調査の体制構築市町村数	市町村	18	11					

		基本方針、施策体系	目標指標	単位	目標値	実績値	頁
第	4 災	害や感染症対策に係る体制整備	,	•			
4 章		(1)災害時の支援・防災対策	_	1	-	-	18
		(2)感染症対策の体制整備	_	_		_	18
第	輝知 紅	主など支援が必要な人を支える地域づく	ม				
5 章	1 認	印症施策の推進					
			Oオレンジカンパニー登録数	団体	542	490	
			〇認知症サポーター養成者数	Д	183,440	162,745	
		(1)理解の増進と地域づくりの推進	〇認知症ピアサポーター登録数	Д	35	26	19
			〇本人ミーティング開催市町村数	市町村	18	11	
			〇施策推進協議会等へ認知症本人·家族が参加し 意見が反映されている市町村数	市町村	18	12	
		(A) A ()	Oチームオレンジ設置数	市町村	18	13	4.0
		(2)社会参加支援	〇若年性認知症の雇用受入れ 事業所数	数	5	3	19
		(3)サービス提供体制の整備	〇認知症疾患医療センターにおけるかかりつけ医・ 地域包括支援センター等との連携件数	件/年	2,000	1,607	20
		(3)サービス提供体制の整備	〇認知症初期集中支援チームの介入により医療・ 介護サービスにつながった人の割合	%	71.0 46.6		20
		(4)相談支援体制の整備	_	_		_	20
		(5)認知症への備え、研究等の推進	_	_	ı	1	20
	2 虐	特防止対策の推進	_	_	_	_	21
	3 権	利擁護の推進 					
		(1)成年後見制度等の利用促進	〇市民後見人養成研修受講人 数	Д	1,004	926	21
		(2)消費者被害の防止	〇消費生活啓発講座実施回数(高齢 者対象)		120	157	21

おおいた高齢者いきいきプラン〈第9期〉の主な項目の進捗状況

(大分県高齢者福祉計画・介護保険事業支援計画)

第1章生涯にわたり生きがいを持って活躍できる社会づくり

		目標指標	亜			
計画の項目	項目	単位	最終 目標 数値	実績値	R6年度の取組(実績)	R7年度の取組(予定)
1 就労的活動 の促進					○国と一体的に実施する「大分県中高年齢者就業支援センター」において、中高年齢者への職業相談・紹介やキャリア形成支援等により再就職を支援した。(キャリアコンサルティング利用者の就職者数:計127人) ○シルバー人材センターの会員拡大や受注量確保のため、各種セミナーや技能講習、就業体験会の開催など広報を含めて支援した。 ○企業側の意識改革を図り、就労環境の整備を推進するため、専門家による企業向けセミナーを開催した。(参加者数:計32人)	○国と一体的に実施する「大分県中高年齢者就業支援センター」において、中高年齢者への職業相談・紹介やキャリア形成支援等により再就職を支援する。 ○シルバー人材センターの会員拡大や受注量確保のため、各種セミナーや技能講習、就業体験会の開催など広報を含めて支援する。 ○企業側の意識改革を図り、就労環境の整備を推進するため、専門家による企業向けセミナーを開催する。

	E	目標指標	票			
計画の項目	項目	単位	最終 目標 数値	実績値	R6年度の取組(実績)	R7年度の取組(予定)
1 就労的活動 の促進			_		(前項の続き) ○シニア雇用推進を図るため、事業所訪問等を通じた企業の高齢者雇用の意識啓発やシニア向け求人の開拓を行った。(事業所訪問数:218社) ○雇用に関係する各種大会行事で、高年齢者雇用優良事業所表彰を実施することで、シニア雇用の推進を図った。 ○国や市町村、各関係機関、部署と連携しながら、それぞれの事業周知・広報及びシニア雇用に関する取組を行った。	(前項の続き) ○シニア雇用推進を図るため、事業所訪問等を通じた企業の高齢者雇用の意識啓発やシニア向け求人の開拓を行う。 ○雇用に関係する各種大会行事で、高年齢者雇用優良事業所表彰を実施することで、シニア雇用の推進を図る。 ○国や市町村、各関係機関、部署と連携しながら、それぞれの事業周知・広報及びシニア雇用に関する取組を行う。
進(1)大芝へ参促大芝へ参促大芝へ参促	老ク加率国位人ブス全順	位	16	24 (R5)	〇地域の高齢者団体が新たに開始する 事業の立ち上げ経費に対して助成することにより、地域での活動促進につなげた。 (〈補助〉助成団体数:24団体) 〇大分県老人クラブ会員増員協議会に参加し、各市老連のリーダーと意見交換を行い、会員増強のための施策を検討する。(R6年度:2回開催)	○地域の高齢者団体が新たに開始する 事業の立ち上げ経費に対して助成することにより、地域での活動促進につなげる。 ○大分県老人クラブ会員増員協議会に参加し、各市老連のリーダーと意見交換を行い、会員増強のための施策を検討する。

		E	目標指標	票			
計	画の項目	項目	単位	最終 目標 数値	実績値	R6年度の取組(実績)	R7年度の取組(予定)
2 地域活動への参画促進	(1) 老ラ動の加進人活へ参促	老ク加率国位人ブス全順	位	16	24 (R5)	(前項の続き) 〇元気な高齢者が地域を支える担い手となれるよう、介護予防のテーマ等、必要な知識や技術を学ぶ研修を実施した。(講座受講者数:50人) 〇大分県老人クラブ連合会が行う各種研修会や、市町村老人クラブ連合会が行う活動促進、介護予防・健康づくり活動等に対して助成を行った。 〇市町村老人クラブ連合会の事務局体制を図る市町村に対して助成を行う。(〈補助〉助成市町村数:13市町)	〇市町村老人クラブ連合会の事務局体制
	(2) ボテア NPO 新へ参促 か か も の 加進	65以の齢のンア録数歳上高者ボテ登者	人	15,935	18,130	ONPO活動や多様な主体との協働事例などをおおいたNPO情報バンク「おんぽ」等で情報提供することにより、県民のNPOとの協働に対する理解を深め、ボランティア・NPO活動への参加を促した。(委託)おおいたNPO情報バンク「おんぽ」や新聞、情報誌等において、多様な主体とNPOとの協働事例を発信	ONPOの多様な主体との活動事例を「おんぽ」等で情報提供することにより、県民のNPOとの協働に対する理解を深め、ボランティア・NPO活動への参加を促す取組みを行う。

		E	目標指標	一		
Ī	十画の項目	項目	単位	最終 目標 数値	R6年度の取組(実績)	R7年度の取組(予定)
2 地域活動への参画促進	(2)ボテアN活等の加進ライ・O動へ参促	65以の齢のンア録数歳上高者ボテ登者	人	15,935 18,130	よう、NPOの活動を支援する意向のある 方を対象に、「おんぽ」名簿登録・マッチン グ事業を実施	(前項の続き) ○おおいたボランティア・NPOセンターやおおいた共創基金の情報を「おんぽ」等で発信し、県民がNPO活動に直接関わるだけでなく、様々な角度からNPO活動に触れることができることを周知していく。

	E	目標指標	票			
計画の項目	項目	単位	最終 目標 数値	実績値	R6年度の取組(実績)	R7年度の取組(予定)
3 生涯学習やスポーツ等の推進生学の進生学の進	「育ネワの組参す地住の合数協」ツー取に加る域民割()	%(人)	10.3 11.4 (万 人)	11	○「協育」ネットワークの取組に参加する地域住民の数 111,784人(令和6年度実績) ○子どもの学習活動や体験活動等への参加を促進することで、学習成果を生かせる場の充実を図った。 ・小学生チャレンジ教室(体験活動) 17市町村137教室 ・未来創成塾(学習支援) 14市町村144教室 ※中核市(大分市)を除く	〇学習機会を提供した講座・セミナーの開催といる。 学習機会を連携した講座・セミナーの開展をともに、県立図書館では課題解決のに関する学習である。 一次では、高齢者のと、高齢者の生涯学習を終合的に推進する。 一生には、関する情報を通じ、は、大工ののは、は、大工ののは、は、大工ののは、は、大工ののは、は、大工ののは、は、大工ののは、は、大工ののは、は、大工ののは、、大工ののは、、大工のので活動がある。 一生に、関するでは、、は、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、

	目標指標						
Ē	計画の項目		項目単位目標数値		実績値	R6年度の取組(実績)	R7年度の取組(予定)
3 生涯学習やスポーツ等の推進	(2) ラスジじポ活の進イテにた一動推	豊国んピ(ポツ化加数のねりッスー文参	人	5,624	3,448	〇総合型クラブ指導者の育成(エクシード 指導者、ヘルスプロモーター)等を通じ て、身近な地域で継続的にスポーツに親 しめるよう、クラブの質的充実を支援できた。 ・総会員数14,351人(60歳以上の会員は 6,118人) ・エクシード指導者 17名を育成 ・エクシード指導者 17名を育成 ・ペルスプロモーター6名を育成 〇県民すこやかスポーツ祭(グラウンド・ 会の開催やヘルスプロモーターを健東フ カサポート教室へ派遣(総合型クラブ 会の開催やヘルスプロモーターが会の開催やカリオる等、高齢者のスポーツ参加機会の充実を図った。 ・健康体力サポート教室を6クラブ実施・ヘルスプロモーター16名を派遣	〇県民すこやかスポーツ祭(グラウンド・ゴルフ、ゲートボール等)を18市町村で、40種目124大会を実施 〇ヘルスプロモーターを総合型クラブ等が実施する健康体力サポート教室へ派遣する。 〇「豊の国ねんりんピック」を開催し、スポーツ部門・文化部門の2つの部門を設けて、高齢者の日頃の練習成果や技を発表する機会を確保し健康と生きがいの高揚を図る。

第2章健康寿命日本一の実現に向けた環境づくり

目標指標			票			
計画の項目	項目	単位	最終 目標 数値	実績値	R6年度の取組(実績)	R7年度の取組(予定)
1 健康寿命を 延ばす健康づく りの推進	特健実率	%	60.9	60.0 (R5)	○市町村間で健康づくり事業の優良事例や優れた取組の情報共有及び横展開を図るための会議の開催並びに活動の指標となるデータの提供を実施した。 ○企業、市町村、他部局等多様な主体との協働の核になる会議の開催を変化を通じた主体間のネットワーク強化。また、会議を基点とした、様々な団体事業を実施した。 ○通院中の患者を含む特定健診未受診者して、動画配信、ラジオCM、ディスレイ広告によるプロモーションを実施した。 ○各保険者において特定健診未受診者への受診勧奨を継続して実施した。	○より多くの県民に、無理なく自然に健康的な行動がとれるよう、健康アプリ「あるとつく」をリニューアルし、普及啓発を実施 ○外食・中食での野菜たっぷりメニュー等の提供を拡大 ○事業所を通じた働き盛り世代の歯科保健を推進 ○特定健診受診勧奨のために、動画配信、テレビCM、SNSを活用した普及啓発を実施 ○健康アプリ「あるとつく」を活用し、トリプル健診キャンペーンや健康チャレンジ事業を実施

	F	目標指	票			
計画の項目	項目	単位	最終 目標 数値	実績値		R7年度の取組(予定)
	通のへ高者参加場の齢の加	%	18.0	14.0 (R5)	場のメニューを多様化し魅力向上を図る	〇高齢者の社会参加促進に向け、通いの場のメニューを多様化し魅力向上を図るため、新たな活動メニューに取り組む通いの場の立ち上げ支援を行う。
2 介護予防の	率				〇フレイル予防を普及するため、民間企業との連携による広報啓発を行った。(協力企業4企業)	〇フレイル予防を普及するため、民間企 業との連携による広報啓発を行う。
推進	要護上年調後定全順介2の齢整認率国位	位	1	8 (R5)	○通いの場の充実・強化に向けて、リハビリ専門職等を派遣した。(派遣実績:3市町8回)○積極的に介護予防に取り組む個人や団体を表彰した。(個人の部113名、団体の部53団体)	○通いの場の充実・強化に向けて、リハビリ専門職等を派遣する。○積極的に介護予防に取り組む個人や団体を表彰する。
3 自立支援・重 度化防止の取組 の推進		人	2,600	2,034 (R6)	〇これまでのICT実証事業で明らかになった課題等に対して、国の交付金も活用し、介護予防ケアマネジメント支援システムの改修及び、当該システムを活用したモデル事業を実施した。 〇アセスメントスキルの平準化及び計画策定業務の効率化を図るとともに、事業効果の報告会を開催した。	に自立支援型サービスにつなげる取組を

第3章 地域で安心して暮らせる基盤づくり

			目標指	票			
計	画の項目	項目	単位	最終 目標 数値	実績値	R6年度の取組(実績)	R7年度の取組(予定)
1 地域共生社会の推進	(1) 包括 と	高者育庭多交支いの主齢、て等世流え活実体を入る。代・合動施数	組織	495	515	〇地域での多世代交流・支え合い活動を 担う人材の配置や新規立ち上げなどの支援を行った。 〈補助〉件数:17件	○多様な主体の参画による地域の課題解決に向け、引き続き多世代交流活動や地域での支え合い活動を推進し、共に支え合う地域づくり活動を推進する。 ○地域や住民活動を支える人材の確保・育成を行う。 ○大分大学との連携により市町村の包括的な支援体制の整備を支援する。
		包な体整れる村的援がさい町数		14	9	〇地域や住民活動を支える人材の確保・育成を行った。 〇大分大学との連携により、学識経験者や地域の実践者をアドバイザーとして派遣し、市町村の包括的な支援体制の整備を支援した。	

		E	目標指標	<u> </u>			
計	画の項目	項目	最終 単位 目標 数値		実績値	R6年度の取組(実績)	R7年度の取組(予定)
1 地域共生社会	(2)居住 支援 体構 の構 築と 進	市ご居住 財の 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大	市町村	18	6	○エリア別居住支援セミナーの開催 ○居住支援九州サミットinべっぷの開催	○改正住宅セーフティネット法説明会の実施 実施 (対象:自治体・居住支援協議会・居住 支援法人・福祉事務所・自立相談支援機 関)○エリア別居住支援セミナーの開催
の推進		居住支 援に る カバ 率	%	50.0	58.2	同上	同上
2 地域ケア会 議の充実・強化						○市町村の課題解決に向けた取組を支援した。 スーパーバイザー派遣事業:7市町村延べ40回 ○専門職派遣等による市町村の地域ケア会議・介護予防等の取組を支援した。 広域支援員派遣:5市町村延べ15名	○市町村の課題解決に向けた取組を支援する。 スーパーバイザー派遣事業 ○専門職派遣等による市町村の地域ケア会議・介護予防等の取組を支援する。 広域支援員派遣

	E	目標指標	票			
計画の項目	項目	単位	最終 目標 数値	実績値	R6年度の取組(実績)	R7年度の取組(予定)
3 生活支援 サービスの充実	地アに以加い活コデネタ割域会1上しる支ーィーー合ケ議 参て生援	%	100.0	83	・生活支援コーディネーター養成研修(初 任者向け29名・現任者向け59名)	〇生活支援コーディネーター向けの研修 や連絡会を実施することで、地域ケア会 議の重要性や会議出席の必要性を促し ていく。 ・生活支援コーディネーター養成研修(初 任者向け・現任者向け)の実施 ・生活支援コーディネーター連絡会の実施
プログル 文	専配れるの支コデネタ割従置て第生援一ィーー合でさい層	%	50.0	29		

		E	目標指標	票			
計	計画の項目		単位	最終 目標 数値	実績値	R6年度の取組(実績)	R7年度の取組(予定)
4 良質な高齢者向け	(1) 高齢者 向け住 宅等の 確保					○サービス付き高齢者向け住宅の質の確保のための定期報告・定期検査を実施した。 ○管理者向けに研修を実施した。 ○サービス付き高齢者向け住宅の質の確保のための定期報告・立入検査を実施した。	○サービス付き高齢者向け住宅の質の確保のための定期報告・定期検査を実施 ○管理者向けに研修を実施 ○サービス付き高齢者向け住宅の質の確保のための定期報告・立入検査を実施
住まいの確保	(2) 住宅改 造の支 援					〇一般住宅改造助成事業 住宅設備を在宅高齢者に適するように 改造する工事の経費を助成 助成件数:79件・15市町 〇自立支援に資する小規模改造助成事業 手すりの取付けなど、早期に自立支援 が可能な小規模工事の経費を助成 助成件数:30件・13市町	〇一般住宅改造助成事業及び自立支援 に資する小規模改造助成事業ともにR6 年度の取組を継続して実施
	(3) 生活支 援のた めの居 住施設 の整備				_	〇特定施設入居者生活介護新規指定1件	〇軽費老人ホーム1件(大規模修繕)

			目標指標	 票			
計	画の項目	項目	単位	最終 目標 数値	実績値	R6年度の取組(実績)	R7年度の取組(予定)
5 医療介護連携の推進	(1) 在医介連推事の実 年寮護携進業充	介保事計にけ在医介連推にる策つて価たの標設で市村護険業画おる宅療護携進係施にい、のめ指を定い町数・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	市	18	13	〇市町村職員や地域ラボインや事業では、地域デザインや事業した。(年年年年年年年年年年年年年年年年年年年年年年年年年年年年年年年年年年年年	○大分に関すると連携し、在宅医療及市町の年度性のでできると連携し、在宅医療及市町の年度推移で他市ででででででででででででででででででででででででででででででででででで

計画の項目		目標指標				
計画の項目	項目	単位	最終 目標 数値	実績値	R6年度の取組(実績)	R7年度の取組(予定)
医 介護 療 連携	訪問診 療を受 けた患 者数	人	15,870	15,181	(前項の続き) ①別府市および佐伯市において、在宅医療に関わる関係機関の連携促進を目的とした研修・意見交換の場を、各地域で全2~3回開催した。多職種間の顔の見える関係構築と連	(前項の続き) ⑥地域で在宅医療を担う関係機関の顔の見 える体制づくりを支援し、地域における在宅医 療提供体制の強化を図る。
実実の推進	医関者院けアジとし護ビ説指行(う支携料定患を関者院のにてマヤ連てサス明導っ介援支をし者を死合機患退向ケネー携介一の・をた護連援算)と数で亡	人	26.8	25.8	惟した。多職種間の関の見える関係情楽と連携強化を進め、地域における在宅医療提供体制の強化を図った。 別府市:第1回 85名参加、第2回 75名参加佐伯市:第1回 23名参加、第2回 61名参加、第3回 75名参加。第3回 75名参加。第3回 75名参加。第3回 75名参加。第3回 75名参加。第2回 61名参加。第3回 75名参加。第2回 61名参加。第3回 75名参加。时代上去。一位《参集》的一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个	⑦人生会議に関する県民向けセミナーを開催するとともに、人生会議を実践する医療福祉従事者等を対象とした研修を4地域(大分市、竹田市、日出町、由布市)で実施する。 ⑧在宅医療サービスを充実させるため、在宅医療の実施に必要な機器等を整備する医療機関等を支援する。 ⑨退職後の看護師や退院調整に関わる職種を対象とした研修会等を実施する。 ⑩機能強化型訪問看護ステーションへの移行を支援するため、アドバイザーを派遣する。

	目標指標						
計画の	の項目	項目	単位	最終 目標 数値	実績値		R7年度の取組(予定)
5 医療 介羅	者の	訪問診 療を患 けた数 (再掲)	人	15,870	15,181	〇別府市および佐伯市において、在宅医療に関わる関係機関の連携促進を目的とした研修・意見交換の場を、各地域で全2~3回開催した。多職種間の顔の見える関係構築と連携強化を進め、地域における在宅医療提供体制の強化を図った。	える体制づくりを支援し、地域における在宅医療提供体制の強化を図る。〈再掲〉 〇人生会議に関する県民向けセミナーを開催するとともに、人生会議を実践する医療福祉
、護連携の推進	へ普啓	医関者院けアネジとし護ビ説指行(支携料定患(療がのにてマーヤ連てサス明導っ介援支をし者掲機患退向ケーの・をた護連援算た数)	人	3,461	3,489	別府市:第1回 85名参加、第2回 75名参加 佐伯市:第1回 23名参加、第2回 61名参加、 第3回 75名参加 〈再掲〉 〇人生会議に関する県民向けセミナー(参加者:99名)を開催したとともに、人生会議を実践する医療福祉従事者等を対象とした研修を 臼杵市および大分市で実施した。 臼杵市:第1回 45名参加、第2回 41名参加 大分市:第1回 59名参加、第2回 53名参加 〈再掲〉 〇訪問看護推進協議会と連携し、「訪問看護の実態等に関する調査」を実施した。 〇退職後の看護師や退院調整に関わる職種を対象とした研修会等を実施した。 退院支援研修 令和6年7月~10月(4日間) 189名参加 内容:入退院支援・調整の基礎知識、実践等	従事者等を対象とした研修を4地域(大分市、竹田市、日出町、由布市)で実施する。〈再掲〉 ○訪問看護推進協議会と連携し、「訪問看護の実態等に関する調査」を実施する。 ○退職後の看護師や退院調整に関わる職種を対象とした研修会等を実施する。〈再掲〉 ○訪問看護に興味を持つ人材を増やし人材確保を図るため、訪問看護ステーションの就業ガイダンスやインターンシップ研修を実施する。 ○質の高い訪問看護師を養成するため、研修を実施する。

		E	目標指標	票			
<u>=</u>	画の項目	項目	単位	最終 目標 数値	実績値	R6年度の取組(実績)	R7年度の取組(予定)
5 医療介護連携の推進	(2) 関者人確育住へ普啓 係の材味と民の及発	医関者院けアネジ連てサス明をた支携料定患に療がのにてマーャ携介一の・行介援支をし者掲機患退向ケ 一し護ビ説導 護連援算た数)		3,461	3,489	材確保を図るため、訪問看護ステーションの就業ガイダンスやインターンシップ研修を実施した。ガイダンス(オンライン開催): 11月23日開催 10施設、46名参加インターンシップ: 2名参加の高い時を実施した。令和7年2月(9日間+eラーング) 22名参加内容:講話(訪問看護の役割等)、海での高度な知識と技能を有する中間と対したの高度な知識と技能を有するため、高度な知識と技能を有するため、同度な知識と技能を有するため、同様に表示の養成を推進するため、同様に表示の特定である。(1件) ○規模拡大のために人材確保・育成を雇り、可能を関係を表示の表示を表示の表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表	(前項の続き) 〇高度な知識と技能を有する専門性の高い看護師の養成を推進するため、訪問看護師の特定行為研修受講費や代替看護師雇用のための人件費を助成する。 ○規模拡大のために人材確保・育成を行う訪問看護ステーションの新規職員の雇用、人材育成にかかる費用を助成する。
		在宅で の死亡 割合 (再掲)	%	26.8	25.8	用、人材育成にかかる費用を助成した。 (2件)	

	E	目標指標	票			
計画の項目	単位	最終 目標 数値	実績値	R6年度の取組(実績)	R7年度の取組(予定)	
(3) 外療能化かけ能保 来の明とり医の 保					○外来機能報告を実施し、外来医療機能の分化・連携を推進するために紹介受診重点医療機関の選定・公表を行った。	○外来機能報告を実施し、外来医療機能の明確化を図り、不足する医療機能等の情報を県のHP等で公表する。 ○令和8年1月から始まるかかりつけ医機能報告の情報を県のHPで公表することで、県民・患者がそのニーズに応じてかかりつけ医機能を有する医療機関を適切に選択できるよう支援する。
6 地域包括ケアシステムを支える人材の育成・資質向上					○介護予防職員育成 トップセミナー 70名受講 サービス計画担当者(応用) 40名修了 現任者研修 38名修了 ○地域包括ケア人材育成 生活支援コーディネーター(初任者) 29名 生活支援コーディネーター(現任者) 59名 生活支援コーディネーター(第1回連絡会) 30名 生活支援コーディネーター(第2回連絡会) 44名 生活支援コーディネーター(第2回初任者) 30名 生活支援センター(第3回初任者) 73名 地域包括支援センター(第3回初任者) 73名 地域包括支援センター(第1回初任者) 83 化域包括支援センター(第1回初任者)と併催 地域ケア会議コーディネーター初任者研修 30名 (地域包括支援センター(第1回初任者)と併催 地域ケア会議コーディネーター現任者研修 30名 (地域ケア会議コーディネーター現任者研修 30名 方ア会議アドバイザー 計22回開催延べ1,368名 医介連携コーディネーター 41名 -20-	○介護予防職員育成 トップセミナー サービス計画担当者(基礎・応用) 現任者の ・応用の ・応用の ・応用の ・応用の ・応用の ・応用の ・応用の ・応用

		E	目標指標	 票			
計	画の項目	項目単位		最終 単位 目標 数値		R6年度の取組(実績)	R7年度の取組(予定)
7 支援を要する高齢	, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	あかは駐場力設た・一車協施数	施設	1,353	1,271	○利用者からの設置希望が多い大規模 小売店舗の中から未登録店舗を抽出し、 設置登録を依頼した。 ○ホームページをより見やすくなるよう見 直し、協力施設や駐車場区画数の拡大を 促した。	〇未設置企業に対し、駐車場確保の協力依頼を行っていく。 〇他都道府県で同様制度の既登録法人が管理する県内施設への協力を依頼 〇既協力法人の施設・店舗拡大にあわせて新設の働きかけを行う。
齢者を支える環境の整備	(2) 生困者へ支援					〇自立相談支援機関において、アウトリーチ支援員等を通じた支援ニーズの把握や一般就労に向けた技法・知識習得のサポート、就労訓練事業所の開拓及び機会の提供、さらには、家計改善などのきめ細かな支援を行った。 〇地域生活定着支援センターの設置・運営を通じて、保護観察所等の関係機関と連携し、対象者の社会復帰及び地域生活への定着を進めた。また、更正施設や居住支援法人等との連携により体制強化を図るとともに、リーフレットを作成し、事業の周知・啓発を図った。	〇支援員の積極的な活動はもとより、市町村や関係機関と連携した就労支援や家計改善支援などの実施により、生活困窮者の自立に向けた支援を進めていく。 〇地域生活定着支援センターの設置・運営を通じて、保護観察所等の関係機関と連携し、福祉的な支援を必要とする方への一層の支援を進めるとともに、受け入れ先の確保に向けて、事業等の周知を図る。

		E	目標指標	票			
計	画の項目	項目	単位	最終 単位 目標 数値		R6年度の取組(実績)	R7年度の取組(予定)
7 支援を要する高齢者を支える環境の整備	(3) 災時支					〇市町村が行う避難行動要援した。 〇福祉避難所等がない小学校区があった。 高治体に対し、設置等の所とともに、のとともに、災害所選別でである。まえ、のとともに、災害所選別がであった。 「DWAT)が関難所をでは、のでは、では、のでは、では、のでは、では、のでは、では、のでは、では、のでは、では、のでは、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で	〇引き続き計画作成を主導する市一ででは、個別避難計画作成を主導する市一で行って、個別避難に更なの検方支援という。の様子では、個別避難が構築では、個別では、近世では、近世では、近世では、近世では、近年、一年、一年、一年、一年、一年、一年、一年、一年、一年、一年、一年、一年、一年

第4章必要な時に安心して介護サービスを受けられる基盤づくり

		E	目標指標	票							-	
言	画の項目	項目	単位	最終 目標 数値	実績値	R6年度	!組(実	R7年度の取組(予定)				
1 介護サービスの充実	(1) 居宅 サービ ス 充実	サビ(者用数一人の一人の一人の一人の一人の一人の一人の一人の一人の一人の一人の一人の一人の一				(1) 介護給付サービス				○訪問介護サービスについたに向けた経営改善を図り、サービスを利用者が安心しビス提供体制の確保を図門家による事業所への伴送の介護事業所等が物価高定的にサービスが提供でお費等の高騰影響額に対場等の高騰影響額に対して、施同様に実施】	て受けるため、 走支援を 騰るよう、 として補助	られる 経実施。 お電気施・ お電実施・ サービス・ サービス・ サービス・
		(別サビつて町数のみげ記) 一スい、村値積上を載			_	区 分 訪問介護 訪問介護 訪問入浴介護 訪問入浴介護 訪問人浴介護 訪問リハビリテーション 居宅療養管理指導 通所介護 通所外とリテーション 短期入所生活介護 短期入所集養 介護 福祉用具販売 居宅介護支援 (2)予防診問人浴介護 (2)予防訪問予防 にで凍養 管理指導 介護予防訪問のビリテーション介護予防通州ハビリテーション介護予防通州人所生活介護 小護予防通州人所東養介護予防通州人所東養介護予防通州人所東養介護予防短期人所東養介護予防短期人所東大震 (2) 東京 (2) 東京 (2) 東京 (3) 東京 (3) 東京 (3) 東京 (4) 東京 (回/年 回/年 回/年 0/年 0/年 0/年 0/年 0/年 0/年 0/年 0/年 0/年 0	6年度計画 ① 3,704,906 20,478 503,890 254,934 112,200 2,815,772 793,584 373,148 38,671 255,372 4,044 3,036 390,540 6年度計画 ① 274 68,063 54,908 3,720 49,392 574 85,212 1,932 2,196 119,064	(連報値)② (②/①) 3.846,849 103.8% 19,121 93.4% 528,414 104.9% 236,059 92.6% 781,958 98.5% 349,518 93.7% 259,168 101.5% 3,812 94.3% 2,428 80.0% 385,895 98.8% 6年度実績 (比率 (変/①) 109 39.8% 72,870 107.1% 52,616 95.8% 3,865 103.9% 49,619 100.5% 5,512 87.6% 429 74.7% 85,652 100.5% 2,020 92.0% 119,645 100.5%	区 分 訪問介護 訪問入浴介護 訪問看護 訪問リハビリテーション 居宅療養管理指導 通所介護 通所介護 通所リハビリテーション 短期入所生活介護 短期入所生養介護 福祉用具貸与 特定福祉用具以動売 居宅介護住宅改修 居宅介護全で改修 居宅介護を下の訪問問いとリテーション 介護予防訪問人浴済護 介護予防訪問リハビリテーション 介護予防・医宅療養管理指導 介護予防・医・原養管理指導 介護予防・短期入所生活介護 介護予防・短期入所療養介護 介護予防福祉用具貨与 特定介護予防福祉用具貨与	回/年 回/年 回/年 日/年 日/年 日/年 日/大/年 日/大/年 日/大/年 日/大/年 日/大/年 日/大/年	7年度計画 ① 3,735,851 20,944 514,470 258,383 115,104 2,876,195 807,690 378,490 38,676 258,696 4,128 3,108 397,200 7年度計画 ① 274 69,246 55,819 3,780 50,064 6,421 575 86,700 1,956 2,220

		Į.	目標指	票							
計	画の項目	項目	単位	最終 目標 数値	実績値	R6年度のI	取組(実	[績]		R7年度の取組(予定	₹)
1 介護サービスの充実		サビ(者用数、別サビつて一ス利・回等個 一スい 市		安値 一 一		(1)地域密着型サービス 区 分 定期巡回・随時対応型訪問介護看護 人/年 夜間対応型訪問介護 人/年 地域密着型通所介護 回/年 認知症対応型通所介護 回/年 小規模多機能型居宅介護 人/年 認知症対応型共同生活介護 人/年 複合型サービス	6年度計画 ① 5,448 1,440 313,882 112,218 9,612 25,044 3,444 6年度計画 ① 2,250 1,380	6年度実績(速報値)② 4,662 1,620 317,516 101,361 8,559 24,885 2,567 6年度実績(速報値)② 1,780 1,323	比率 (②/①) 85.6% 112.5% 101.2% 90.3% 89.0% 99.4% 74.5% 比率 (②/①)	(1)地域密着型サービス 区 分 定期巡回・随時対応型訪問介護看護 人/年夜間対応型訪問介護 人/年地域密着型通所介護 回/年認知症対応型通所介護 回/年 小規模多機能型居宅介護 人/年認知症対応型共同生活介護 人/年複合型サービス 人/年 (2)地域密着型介護予防サービス 区 分 介護予防認知症対応型通所介護 回/年介護予防別知症対応型通所介護 回/年介護予防小規模多機能型居宅介護 人/年	7年度計画 ① 6,048 1,476 319,705 113,450 10,260 25,428 4,008 7年度計画 ① 2,354 1,464
	(3) 施設 (系) サービ スの 充実	町数のみげ記が村値積上を載り				○個室ユニットケア及	 vび施討		<u>91.7%</u> 軽績無し	□介護予防認知症対応型共同生活介護 □ 人/年 ○地域密着型介護老人福祉が 件 ○認知症対応型共同生活介認 ホーム)整備1件	

構築					目標指標	票			
構築		計ī	画の項目	項目	単位	最終 目標 数値	実績値	R6年度の取組(実績)	R7年度の取組(予定)
・	イ語ノホ	ト隻しす	構築	_	_	_	_	築事業 ・市町村担当者会議 2回(5/20, 11/13) ・個別テーマ会議 1回(8/6) ・エリア別意見交換会 2回(北部、県南・豊肥)	〇市町村介護人材確保プラットホーム構 築事業
<u>-25</u>	•		な人 材の 参入	県の護員内介職数	人	24,264		初任者研修資格取得助成介護福祉士修学資金等貸付事業就職フェアの開催(大分市2回、地域別5回) 職場体験事業、出前講座の実施(18回、参加人数623人) 〇外国人材の受入推進外受入交流事業の実施受入推進協議会の開催(3回)外国人介護人材に対する集合研修(6回)受入時に要する初期費用等を助成するインセンティブ補助金留学生への奨学金給付 〇介護の仕事の魅力発信介護情報発信サイト「OPENOITAWEB」) ⇒ふくふく認証施設の紹介(12事業所)介護体験交流ブース出展(2回) ○就職支援強化介護の仕事入門セミナー	初任者研修資格取得助成介護福祉士修学資金等貸付事業就職フェア、職場体験事業、出前講座 ○外国人材の受入推進外国人介護人材受入交流事業の実施受入推進協議会の開催外国人介護人材に対する集合研修受入時に要する初期費用等を助成するインセンティブ補助金留学生への奨学金給付 ○介護の仕事の魅力発信介護情報発信サイト「OPENOITAWEB」)介護体験交流イベントの開催 ○就職支援強化

		E	目標指標	票			
計	画の項目	項目	単位	最終 目標 数値	実績値	R6年度の取組(実績)	R7年度の取組(予定)
2 介護人材の確保・育成	部防定促	大県証価度「ふ証認法数分認評制」く認」証人	法人	80	28	 ○若手介護職員の離職防止 介護従事者3年未満の介護職員交流促進研修会(2回、16名) ○福祉・介護事業所認証評価制度の運用(ふくふく認証) R6年度12法人認証 ○処遇改善加算の取得促進 ○社会福祉施設等職員研修指導監督職員研修などの実施 	○若手介護職員の離職防止 11月11日の「介護の日」に合わせた大型イベントの実施 ○福祉・介護事業所認証評価制度の運用 (ふくふく認証、ふくふくプレミアム認証) ○県内訪問介護事業所における人材確保を図るため、事業所における経験年数の長いホームヘルパーが、一定期間、経験年数の長いホームヘルパーや訪問業務に従事した経験のないホームヘルパーに同行支援する経費の補助を実施 ○処遇改善加算の取得促進 ○社会福祉施設等職員研修 指導監督職員研修などの実施

		目標指	票			
計画の項目	項目	単位	最終 目標 数値	実績値	R6年度の取組(実績)	R7年度の取組(予定)
2 介護人材の確保・育成4)現革(現の方革	新 注 場 動き	施設	25	13	〇ノーリフティングケア用福祉用具導入経費に対する助成(76事業所、計43,516千円) 〇ノーリフティングケアに係る普及啓発(県委託事業) ・ノーリフティングケアに関する知識・技術に係る研修の実施(指導者養成研修は12施設が受講) ・先進施設におけるノーリフティングケアの実際を学び、自施設での導入促進につなげる研修の実施(5施設で開催、計33名参加) 〇ノーリフティングケア用福祉用具導入経費に対する助成(76事業所、計43,516千円) 〇ノーリフティングケア先進施設指定アドバイス:3施設ベーシック(R6年度創設):1施設	 ○ノーリフティングケア用福祉用具導入経費に対する助成(R7執行予定額:43,750千円) ○ノーリフティングケアに係る普及啓発(県委託事業) ・ノーリフティングケアに関する知識・技術に係る研修の実施 ・先進施設におけるノーリフティングケアの実際を学び、自施設での導入促進につなげる研修の実施 ○ノーリフティングケア用福祉用具導入経費に対する助成(R7執行予定額:43,750千円) ○ノーリフティングケア先進施設指定
	入系護設介ロト率所介施の護ボ導	%	100	85	○介護DXサポートセンターの設置(R6.4~)、及び介護DXアドバイザーによる導入支援 介護DXアドバイザーを2名→3名へ増員し、事業所からの相談対応や伴走支援を行う体制の強化 ○介護ロボット導入経費に対する助成(63事業所、1509台、計288,440千円) ○介護生産性向上セミナーの開催(3回、計356名が参加) ○介護DXモデル事業所の養成(R6年度は6施設養成、計12施設) -27-	 ○介護DXアドバイザーによる導入支援 ○介護ロボット導入経費に対する助成(R7執行予定額:313,350千円) ○介護生産性向上セミナーの開催 ○介護DXモデル事業所の取組の横展開各圏域別セミナーの開催

		F	目標指	票			
計	画の項目	項目	単位	最終 目標 数値	実績値	R6年度の取組(実績)	R7年度の取組(予定)
保・育成 介護人材の確	(5)介護人 材の育 成		_	_	_	 ○介護事業所認証評価制度の運用(ふくふく認証) R6年度認証法人数:12法人 累計:28法人(R4~) 取組内容 ・個別セミナーの実施 ・スタートアップセミナーの実施 	○介護事業所認証評価制度の運用(ふく ふく認証・ふくふくプレミアム認証)
3 介護サービス	(1) 介サス者す 導督 ・監		_	_	_	○集団指導の実施	○集団指導の実施
への質の確保	(2) 国保連 合会を 情相 受対 が	_	_	_	_	〇国保連合会が行う苦情相談業務に対し て補助金を交付 補助金交付額:1,403千円	〇国保連合会が行う苦情相談業務に対し て補助金を交付
· 向 上	(3) 介護 サービ ス情報 の公表		_	_		〇介護サービス情報公表システムにより 介護保険施設に関する情報を公表	〇介護サービス情報公表システムにより 介護保険施設に関する情報を公表

		E	目標指標	票			
計	画の項目	項目	単位	最終 目標 数値	実績値	R6年度の取組(実績)	R7年度の取組(予定)
3 介護サ―ビスの質の確保・向上	(4)介付の組織	介付化テ活たプ点施村護適シム用ケラ検市数給正スをしアン実町	市町村	18	8	〇ケアプラン点検等アドバイザー派遣事業を大分県介護支援専門員協会に委託して実施 ①ケアプラン点検への派遣回数7市町へ計15回 ②研修会への派遣回数7市町へ計7回 ○国保連合会と連携し、介護給付適正化システムの操作方法に係る研修会・個別支援を実施①研修会開催日:令和6年12月25日参加者:17市町村の担当職員計29名 ②個別支援 支援日:令和7年2月19日対象者:由布市高齢者福祉課職員2名	○ケアプラン点検等アドバイザー派遣事業を大分県介護支援専門員協会に委託して実施○国保連合会と連携し、介護給付適正化システムの操作方法に係る研修会・個別支援を実施
		専に住修検制市数職る改点体築村	市町村	18	14	○大分県介護給付適正化担当者会議を 開催し、他県の体制構築事例の共有を図る 開催日:令和6年12月25日 参加者:17市町村の担当職員 計29名 国保連合会担当者	〇11月に開催予定の適正化ブロック研修会の内容を踏まえ、12月頃に大分県介護給付適正化担当者会議を開催

		E	目標指標	票			
計	画の項目	項目	単位	最終 目標 数値	実績値	R6年度の取組(実績)	R7年度の取組(予定)
3 介護サービスの質のな	(4) 介 給 適 化 取 組	専に福具入与の構町門よ祉購貸酒制体築村	市町村	18	11	○大分県介護給付適正化担当者会議を 開催し、他県の体制構築事例の共有を図る 開催日:令和6年12月25日 参加者:17市町村の担当職員 計29名 国保連合会担当者	〇11月に開催予定の適正化ブロック研修 会の内容を踏まえ、12月頃に大分県介護 給付適正化担当者会議を開催
の確保・向上	_	_		_	_	○市町村における要介護認定業務のデジタル化 【大分市、別府市との共同モデル事業】 主治医意見書の電送化等により認定事 務処理期間の短縮等 〈県平均35.9日⇒実証後32.0日(大分・ 別府平均)〉	○R6の成果を踏まえ、他市町村への横展開を図るため、外部アドバイザーの派遣等を実施
体制整備 以害や咸	(1) 災害 災時の 支防援・ 対策	_			_	〇非常用自家発電設備整備1件(介護老人保健施設)	○非常用自家発電設備整備1件(介護老人福祉施設)○業務継続計画の策定状況等の調査
感染症に係る	(2) 感染 症対 策の 体制 整備	_	_		_	〇高齢者施設における感染対策や医療 機関との連携強化に関する通知等	○高齢者施設における感染対策や医療機関との連携強化に関する通知等○業務継続計画の策定状況の調査

第5章 認知症など支援が必要な人を支える地域づくり

		E	目標指	票			
計	画の項目	項目	単位	最終 目標 数値	実績値	R6年度の取組(実績)	R7年度の取組(予定)
1 認知症施策	(1) 理解 進域 域の 進 進 が 進 が 進 が も が も が も と が も と が も も も も も も も も も	オレン ジカン パニー 登録数	団体	542	490	〇市町村による企業・団体への呼びかけ 等により、8団体の登録あり	〇業種別の認知症サポーター養成講座 の開催に加え、企業・団体への認知症ピ アサポーター派遣を実施
策の推進		認知症サポーター養成者数	人	183,440	162,745	〇認知症サポーター養成研修を開催(県主催:月1回)した。(215人修了)	〇認知症サポーター養成研修の開催(県主催:月1回)
		認知症 ピアサ ポー ター登 録数	人	35	26	〇ピアサポーター養成研修を開催(2回) し、新たに2名のピアサポーターを登録し た。	〇ピアサポーター養成研修の開催(2回)
		本 人 ミー デイン グ開 前 数	市町村	18	11	〇各市2回程度ピアサポーターを派遣し、 本人ミーティングの企画・開催支援を行っ た。	〇各市2回程度ピアサポーターを派遣し、 本人ミーティングの企画・開催支援を行 う。

		E	目標指標	<u> </u>			
計画の項目		項目	単位	最終 目標 数値	実績値	R6年度の取組(実績)	R7年度の取組(予定)
1 認知症施策の推進	(1) 理解 増 とづの 進 り進	人・家たが会	市町村	18	12	〇各市2回程度ピアサポーターを派遣し、本人発信の取組を支援した。	〇各市2回程度ピアサポーターを派遣し、 本人起点の事業や対話の場づくりを支援 する。
	(2) 社会 参加 支援	チーム オレン 構築 数	市町村	18	13	〇チームオレンジの整備に向けた伴走型 支援を実施した。 実施市町村:別府市、日田市、杵築市	〇各市町村の課題や希望する内容に応じて、オレンジチューター等を派遣し、伴走型支援を実施する。(1市町村×3回程度)
		若年性 認雇用 受入事 美所数	数	5	3	〇現状や課題等を整理するため、関係機関との作業部会を開催(1回)	〇雇用・動労部門も踏まえた関係機関から構成されるネットワーク会議や研修会を 開催

		[目標指標	票			
計	画の項目	項目	単位	最終 目標 数値	実績値	R6年度の取組(実績)	R7年度の取組(予定)
1 認知症施策の推進	(3) サス供制整 一提体の備	認疾療タおかつ医域支ン等連数知患セーけかけ・包援タと携症医ンにるり、地括セーの件	件/年	2,000	1,607	○認知症疾患医療センター連携会議の開催(2回) ○オレンジドクターの養成・フォローアップ(オレンジドクター養成者数19名・フォローアップ研修受講者数156名) ○認知症対応力向上研修の実施・病院勤務の医療従事者向け認知症対応力向上研修(118名受講)・看護職員認知症対応力向上研修(34名修了)・薬剤師認知症対応力向上研修(59名受講)・歯科医師認知症対応力向上研修(1日目103名・2日目52名受講) ○認知症情報サイトおれんじでの情報提供	○認知症疾患医療センター連携会議の開催○オレンジドクターの養成・フォローアップ○認知症対応力向上研修の実施○認知症情報サイトおれんじでの情報提供
		認初中チのに医護ビつが人合知期支一介よ療サスなっの年集援ム入り・一にた割	%	71.0	46.6	〇市町村ヒアリングによる現状把握・課題 整理 -33-	〇市町村ヒアリングによる現状把握·課題整理、担当者会議·研修等での協議

		E	目標指標	票			
計	画の項目	項目	単位	最終 目標 数値	実績値	R6年度の取組(実績)	R7年度の取組(予定)
1 認知症施策の推進	(4) 相談 体制 の整 備		_	_	_	○認知症情報サイトおれんじでの情報提供(随時) ○認知症地域支援推進員連絡会の開催(連絡会5回、情報交換会5回) ○若年性認知症支援コーディネーターの設置	○認知症情報サイトおれんじでの情報提供 ○認知症地域支援推進員連絡会の開催 ○若年性認知症支援コーディネーターの 設置
進	(5)認症のえっての進			_	_	○認知症予防に取り組む通いの場の立ち上げ支援を行った。(モデル市町村数:1市)○認知症予防研修の開催(51名受講)	○認知症予防に取り組む通いの場立上 げ支援○認知症予防研修会の実施

	-	目標指標	票			
計画の項目	項目	単位	最終 目標 数値	実績値	R6年度の取組(実績)	R7年度の取組(予定)
					〇権利擁護推進員養成研修(介護施設・ サービス事業従事者向け研修)252名(修 了者)	〇権利擁護推進員養成研修(介護施設・ サービス事業従事者向け研修)
					○看護職員研修(看護指導者養成研修)3	〇看護職員研修(看護指導者養成研修)
					名(修了者)	〇看護職員研修(看護実務者研修)
					〇看護職員研修(看護実務者研修)54名 (修了者)	〇地域包括支援センター(第2回初任者)
						〇地域包括支援センター(第3回初任者)
					〇地域包括支援センター(第2回初任者) 30名	〇地域包括支援センター(現任者)
2 虐待防止対 策の推進	_		_	_	〇地域包括支援センター(第3回初任者) 73名	〇養介護施設等管理者向け権利擁護研修(権利擁護推進員養成研修)の実施
					〇地域包括支援センター(現任者)60名	〇看護指導者養成研修の実施(日本看護協会主催の研修への派遣)
					〇養介護施設等管理者向け権利擁護研修(権利擁護推進員養成研修)の実施	□ ○ 看護実務者研修の実施
					〇看護指導者養成研修の実施(日本看護協会主催の研修への派遣)	
					〇看護実務者研修の実施	

目標指標				票			
計画の項目		項目	単位	最終 目標 数値	実績値	R6年度の取組(実績)	R7年度の取組(予定)
3 権利擁護の推進	(1) 成後制等利促 利促	市見成受数	人	1,004	926	〇市町村の実施する市民後見人養成に 係る取組を支援した。 <補助>市町村数:7市	○市町村の実施する市民後見人養成に係る取組を支援を行う。
	(2) 消者害防	消活講施(者象生発実数)	□	120	157	〇消費生活相談員の資質向上研修等の実施 指定消費生活相談員養成研修:6回、フォローアップ研修:6回 〇高齢消費者見守り講座の実施や啓発資料の配付等講座:15回、555人 〇市町村担当課長会議や市町村巡回訪問での消費者安全確保地域協議会(見守りネットワーク)設置促進の要請及び資料の提供 〇高齢者サロン等での消費生活出前講座の実施 出前講座:157回、4,124人 〇消費者への情報提供、関係機関との連絡調整、事業者指導等の実施	○消費生活相談員の資質向上研修等の実施○高齢消費者見守り講座の実施や啓発資料の配付等○市町村担当課長会議や市町村巡回訪問での消費者安全確保地域協議会(見守りネットワーク)設置促進の要請及び資料の提供○高齢者サロン等での消費生活出前講座の実施○消費者への情報提供、事業者指導等の実施